

国際力動的心理療法学会 第28回年次大会

自我を鍛える：力動的発達のために

Ego Training
for Dynamic Development

寄付・協賛のお願い

開催日時：2024年9月21・22・23日

開催場所：福島県郡山市

(郡山ビューホテルアネックス)

【寄付のお願い】

個人の皆さま：一口 10,000円から

法人の皆さま：一口100,000円から

ご寄付を賜りました方へのお礼と感謝の意を込めて、抄録集にご芳名を掲載させていただきます（ご希望の方のみ）。さらに、無料で、大会会長の橋本先生によるリーダーシップ力を高めるプログラム（法人：3名まで、個人：1名）にご招待いたします。

また、法人の皆さまにおいては、無料にて広告掲載をさせていただきます。

【広告掲載・ご寄付の手続き】

- ① 学会HP (<https://www.28annual.iadp.info>) よりお申込書(PDF)に必要事項を記入のうえ、捺印または署名をお願いいたします。
- ② お申込書を下記大会事務局宛にお送りください。※E-mailでのお申込みも受け付けています。
①の書類をoffice28@28annual.iadp.infoにお送りください。

申込書類の受理が確認でき次第、口座振り込みのご案内をお送りいたします。

【お問い合わせ連絡先】

国際力動的心理療法学会（IADP）第28回年次大会事務局

〒：107-8402 東京都港区赤坂4丁目1-26

国際医療福祉大学大学院赤坂キャンパス 橋本和典研究室（E1008）

電話番号：070-2280-8490

E-mail：office28@28annual.iadp.info

担当：大会事務局長 溝口 侑平

【広告掲載をお考えの方】

広告は、本大会の抄録集に掲載させていただきます。申込書に加え、版下送付をお願いいたします。

申込締切日：2024年7月7日(日)

版下締切日：2024年7月14日(日)

掲載予定：1頁:22,000円(税込) 5件
半頁:11,000円(税込) 10件

抄録発行部数・規格：A4版・100部

【版下送付方法】

広告原稿は、版下もしくはデータ(JPG、PDF等)を大会メールアドレスに添付して、お送りください。広告掲載に関する詳細と申込書はHPをご参照ください。



大会HPのURL：<https://www.28annual.iadp.info>

大会HPのQRコード⇒



IADPとは

国際力動的心理療学会は、理事長の国際基督教大学名誉教授の小谷英文先生と精神科医であった故Edward L. Pinney博士によって1995年に設立されました。**ダイナミックな心の変化を助ける力動的心理療法**についての技術研鑽、研究、人材育成を行い、**日本、世界のメンタルタフネスの向上に寄与**することを目的とした学術団体です。**メガ災害からの心の復興支援**は、本学会の一つのミッションです。3.11後の福島では、2013年、2014年に次ぐ、3回目の開催になります。

大会会長からのご挨拶

「メンタル」を鍛える。「自我」を鍛える。この必要性が待たなして高まっています。日本、世界のメンタル状況は、危機に瀕しています。小学生・中学生の不登校は約30万人に達する勢いです。引きこもる方も150万人に達するという統計もあります。企業人のうつ、適応障害も止められず、ハラスメント問題のこじれからの組織機能不全も目立ちます。また、「大人」の不祥事や、食、酒、薬物、ギャンブルの濫用も目立ちます。何より、21世紀を越えてなお、人類は破壊の極致である「戦争」を克服できていません。

どんな厳しい環境でも、瑞々しいエネルギーを活かしシンプルに生きる個の力、これが自我の自己経営力の本質です。この自我を鍛える発想なきと、今のメンタルヘルス危機をチャンスに変えることはできません。

自我は、チャレンジして、突き抜けて、転んで、傷ついて、立ち上がり、育ちます。こうしたタフで活気ある社会文化をあらためて取り戻し、創造する第一歩を、原発問題を抱え、東日本大震災から長い復興の道のりが続く「郡山」からはじめたいと思います。ぜひ、本学会の活動に力を貸してください。共に、心が元気で、個と集団の自我がイキイキと躍動する社会を作っていきましょう。

大会会長 橋本和典

本大会の趣旨にご賛同いただける方へ

本大会の趣旨にご賛同いただける方は**大会へのご参加**はもちろんのこと、**後援、協賛、寄付**をお願いできれば幸いです。**寄付をいただいた方には、ご芳名、広告掲載のみならず、以下の特別プログラムに無料で、ご招待いたします。**共に、「自我を鍛える」文化を作っていきましょう。
⇒寄付・広告掲載の詳細は、表面をご参照ください

第28回大会特別プログラム 危機の時代のリーダーシップ力 —リーダーの自我の覚醒が組織を強くする—

日時：2024年9月22日(日) 14:00～17:00
場所：郡山ビューホテルアネックス
対象：あらゆる組織のリーダー（災害復興に関連する組織リーダー、被災復興地域のリーダー、あらゆる組織・集団のリーダー）
参加費：13,200円（税込）
トレーナー：橋本和典*（国際医療福祉大学大学院）

※専門は、精神分析的心理療法、危機介入および組織開発、リーダーシップ開発。本大会会長であり、3.11後の福島におけるメガ災害被災者およびコロナ禍対応医療者を対象とした「心理療法コミュニティ」アプローチを開発し、研究・実践重ねてきている。

寄付・協賛金はこのように 使わせていただきます

- ・第28回大会の運営費
- ・国内外から講師の先生の招聘費
- ・本学会の成果を著書「メガ災害心理療法の一步」の出版費用

第28回年次大会について

福島県郡山市の老舗のホテルを会場として、2泊3日の合宿形式の年次大会となります。東日本大震災等のメガ災害の被災・復興地域の心の専門家はもちろんのこと、米国、日本のトップの専門家を招聘し、**心を元気にする力動的心理療法およびその原理を生かしたさまざまな臨床・教育手法についてのトレーニングを中心としたプログラム**を組みます。まさに、学会を通して、専門家が自我を鍛えるプログラムです。

また、力動的心理療法の第一人者である小谷英文理事長による、学校現場の山積するメンタルヘルス問題を生み出す要因を分析し、今どのような対策が必要かを導き出す「**教師のメンタルヘルスワークショップ**」や、Covid-19やメガ災害対応をしてきた「**医療従事者、災害対応者を対象とした危機介入とセルフケア**」と題する特別なオープンプログラムも開催します。よろしく願いいたします。

大会実行委員

- ・三瓶 利正（アイコン技研代表取締役）
- ・菊地 宗光（NPO法人福島環境カウンセラー協会副会長）
- ・菅原 美智子（福島市議会議員）
- ・高田 毅（健康科学大学准教授）
- ・藤沢 けさ子（福島復興心理・教育センター市民ボランティア）

大会組織委員

- ・足立 智昭（一般社団法人東日本大震災子ども・若者支援センター代表理事）
- ・山口 勇（元福島県議会議員）
- ・石井 剛（東京大学大学院総合文化研究科教授）